心のつながりシート

「美術館 MOT+学校×子供」
～今だから、もっと、つながろう！～
－東京都現代美術館とつながる－
遠隔での鑑賞学習と作品表現

【授業の主旨】

ビデオ会議システムやタブレットを利用し、外部施設を積極的に活用しながら、教科内容に関係する専門家と連携・協働を図り、児童生徒が多様な意見に触れ、様々な体験を積む機会として実施

◆-◆-◆-◆-◆-◆-◆-◆-【実施学年：６年生】学習活動の流れ-◆-◆-◆-◆-◆-◆-◆-◆-◆

①東京都現代美術館の学芸員による展示内容の紹介
- 「MOT コレクション Journals　日々、記す」の紹介
  （日々の出来事を扱う記録の仕方（表現方法）が、作家により異なることに気付く）
- 現代美術について、子供たちが学芸員に質問

②展示作品からインスパイアされたテーマをもとに、自分なりの視点で表現活動を展開
- ６年間で一番思い出に残っている場所を探し、タブレットで撮影
- 互いの作品を鑑賞（鑑賞しながら、撮影された場所の思い出やエピソードを考える。）
- 学芸員が助言
  （作品に対する質問などを投げかけてもらうことを通じて、それぞれの見方・考え方で鑑賞し合う大切さを知る。）

◆-◆

美術館との遠隔による連携授業を提案し、美術館に来館しなくとも可能な作品鑑賞体験や、自分なりの作品の見方や考え方を促す体験をしてもらう遠隔鑑賞授業の取組を実施したものである。

＜子供たちの声＞
- 東京都現代美術館にはいろいろな作品があり、それぞれの作者の深い考えがあって面白かった。
- 面白い作品を見て、実際に行ってみたくなった。学芸員の話やリモート鑑賞のおかげで本当に行った気分になった。

葛飾区立こすげ小学校